The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	民和土族語の述語形式に関する初歩的研究：モンゴル語族内の位置づけと主観・客観形式の弁別をめぐって
Author(s)	塩谷, 茂樹
Citation	言語文化研究. 2022, 48, p. 229-248
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87094
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

民和土族語の述語形式に関する初歩的研究
―モンゴル語族内の位置づけと主観・客観形式の弁別をめぐって―

塩　谷　茂　樹

A Preliminary Study of Predicate Forms of the Mangghuer Language
―Focusing on Its Typological Classification in the Mongolic Languages and the Differences Between Subjective / Objective Forms―

SHIOTANI Shigeki

The Mangghuer language belongs to the Mongolic languages and is spoken in Guanting town in the southeast of Minhe Hui and Tu Autonomous County, Qinghai province, China.

From the typological viewpoint of predicate forms in the Mongolic languages, they are divided into three groups, i.e. one has personal endings of predicate forms such as the Buryad language, another has no personal endings like the Mongolian language, and the other has subjective / objective forms just like the Mangghuer language.

As for the usage of predicate forms of the language, especially the differences between subjective / objective forms, it was made clear as a result of the research that the Mangghuer language has three basic rules focusing on affirmative sentences and interrogatives (yes-no questions), and also has four cases they cannot be applied to.

キーワード：民和土族語，主観・客観形式，非制御動詞

1．モンゴル語族の現状

モンゴル語族とは，モンゴル国，中国を中心に，さらにロシア，アフガニスタンにまで広範囲に及ぶ，アルタイ諸語の一つを構成する膠着語である。

話者人口は，推定730万人で，計10の独立した言語からなるが，概略次のようにまとめることができる[1)]。

1）塩谷その他（2014）pp. 211–213を参考にし，若干加筆した。

A. 文字言語（独自の正書法を持っている）

1．モンゴル語（モンゴル国：キリル文字，中国・内モンゴル：モンゴル文字）
モンゴル国で240万人，中国・内モンゴルで350万人，合計およそ590万人となり，モンゴル語族全体の80％を占める。

2．ブリヤート語（ロシア：キリル文字）

3．カルムィク語（ロシア：キリル文字），オイラト語（中国：元来はトド文字，後にモンゴル文字に移行）この２つは同一言語に属する方言とみなしうる。

以上，３つの言語は，概ね意思疎通が相互に可能な範囲の言語である。

B. 無文字言語（原則として）

4．モゴール語（アフガニスタン）

以下，５～10の６つの言語を「中国領内のモンゴル系孤立的諸言語」，特に５～９の５つの言語を総称して「河湟語（かこうご）」と呼ぶ。

5．バオアン（保安）語（中国）

6．ドゥンシャン（東郷）語（中国）

7．カンジャ（康家）語（中国）

8．モングォル（土族）語（中国）

9．シラ・ユグル（東部裕固）語（中国）

10．ダグル（達斡爾）語（中国）

以上，７つの言語は，意思疎通が相互に全く不可能な言語である。

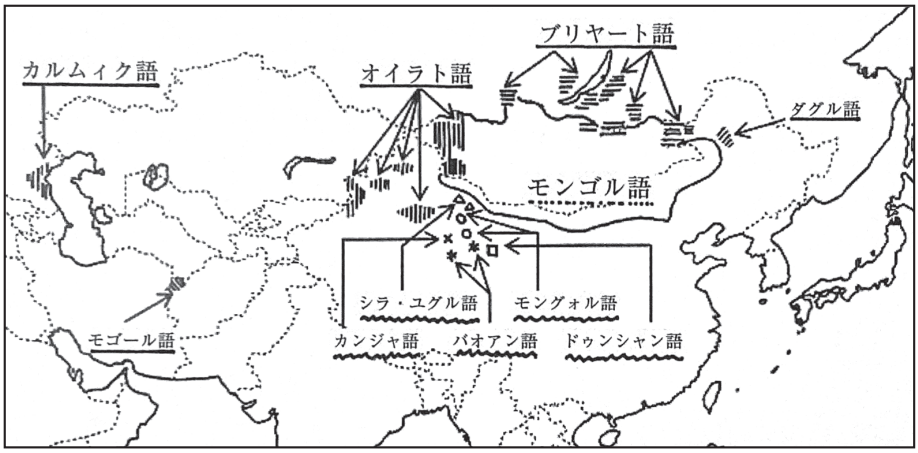
２．モンゴル語族における述語形式の類型論

モンゴル語族全体をその述語形式に着目すると，以下の３つの類型に大別できる。

A. 述語人称語尾を有するタイプ … ブリヤート語（ロシア），カルムィク語（ロシア）,オイラト語（モンゴル国西部，中国の新疆ウイグル自治区），モゴール語（アフガニスタン），ダグル語（中国）

B. 述語人称語尾を有さないタイプ … モンゴル語（モンゴル国，中国の内モンゴル自治区他），オイラト語（中国の甘粛・青海省）

C. 主観・客観形式を有するタイプ … バオアン語，ドゥンシャン語，カンジャ語，モングォル語，シラ・ユグル語（上記５言語すべて中国の甘粛・青海省に属する）



モンゴル語族の言語分布図[2)]

――― 述語人称語尾を有するタイプ
- - - - 述語人称語尾を有さないタイプ
〰〰 主観・客観形式を有するタイプ

最初に，A. 述語人称語尾を有するタイプより，ロシアのブリヤート語の例を挙げる。

ブリヤート語の述語人称語尾

	単数	複数
1 人称	-b	-bdi
2 人称	-š	-t
3 人称	-ϕ（ゼロ形）	-d

一般的に述語人称語尾は，対応する主語の人称代名詞・主格の弱化形であることが多い。

ブリヤート語の人称代名詞・主格形

	単数	複数
1 人称	bi	bide
2 人称	ši	ta（nar）[3)]
3 人称	tere	tede

例文：yabana-b　（yaba- 行く，　-na 現在，　-b　　1 人称単数）　私は行きます
　　yabana-š　（yaba- 行く，　-na 現在，　-š　　2 人称単数）　あなたは行きます
　　yabana　　（yaba- 行く，　-na 現在，　-ϕ　　3 人称単数）　彼（彼女）は行きます
　/ yabana-bdi（yaba- 行く，　-na 現在，　-bdi　1 人称複数）　私たちは行きます
　　yabana-t　（yaba- 行く，　-na 現在，　-t　　2 人称複数）　あなたたちは行きます
　　yabana-d　（yaba- 行く，　-na 現在，　-d　　3 人称複数）　彼らは行きます

2）塩谷その他（2014）p. 212 掲載の「モンゴル語族の言語分布図」に 3 種類の下線を施して，3 つのタイプを区別した。
3）nar は，複数接尾辞《～たち》に相当する。

説明：ブリヤート語を含む，述語人称語尾を有するタイプの言語では，述語人称語尾は，義務範疇として文法範疇化されており，述語人称語尾を取らない形式は，当然非文となる。

次に，B. 述語人称語尾を有さないタイプより，モンゴル国のモンゴル語の例を挙げる。当該言語では，述語人称語尾は文法範疇化されていないため，文の主語は人称代名詞・主格形で明示しなければならない。

モンゴル語の人称代名詞・主格形

	単数	複数
1 人称	bi	bid
2 人称	či	ta nar
3 人称	ter	ted

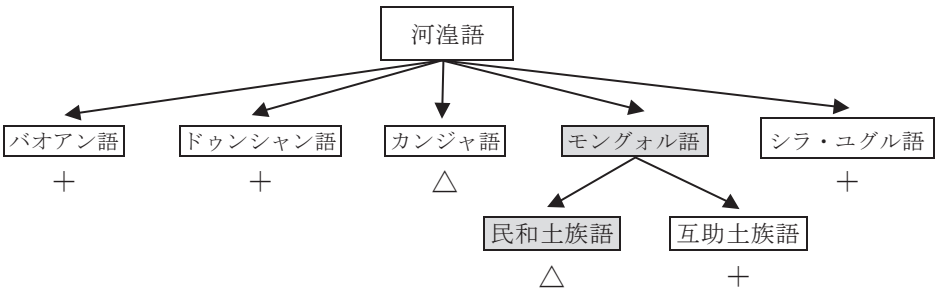
例文：bi yawna （1 人称単数 bi, yaw- 行く， -na 現在） 私は行きます
či yawna （2 人称単数 či, yaw- 行く， -na 現在） あなたは行きます
ter yawna （3 人称単数 ter, yaw- 行く， -na 現在） 彼（彼女）は行きます
/ bid yawna （1 人称複数 bid, yaw- 行く， -na 現在） 私たちは行きます
ta nar yawna （2 人称複数 ta nar, yaw- 行く， -na 現在） あなたたちは行きます
ted yawna （3 人称複数 ted, yaw- 行く， -na 現在） 彼らは行きます

説明：モンゴル語を中心とする，述語人称語尾を有さないタイプの言語では，主語は人称代名詞の主格形で，述語形式は主語の人称・単複を問わず，一形式（この場合は yawna）で表示される。また主語が述語形式の後に来る場合は，例えば，yawna bi（行きます，私は）のように修辞法における倒置表現として処理される。

最後に，C. 主観・客観形式を有するタイプとして，中国の甘粛・青海省に属するバオアン語，ドゥンシャン語，カンジャ語，モングォル語，シラ・ユグル語の 5 言語（通称「河湟語（かこうご）」と呼ばれる）があるが，その実態は言語間で大幅に異なっており，一様でない。

さらに，歴史言語学の立場からモンゴル祖語を想定すると，祖語が述語人称語尾を有するタイプであったか，述語人称語尾を有さないタイプであったかという学説上の議論があり，まだ結論に至ってはいないが，この第 3 のタイプは，これら 5 言語の周辺に位置するチベット語（同じく「主観・客観形式」を有する言語）の影響を受けて，徐々に現在のタイプに変容していったと考えられている[4)]。

4）Slater, Keith W.（2003）pp. 212–219 に詳しい説明がある。

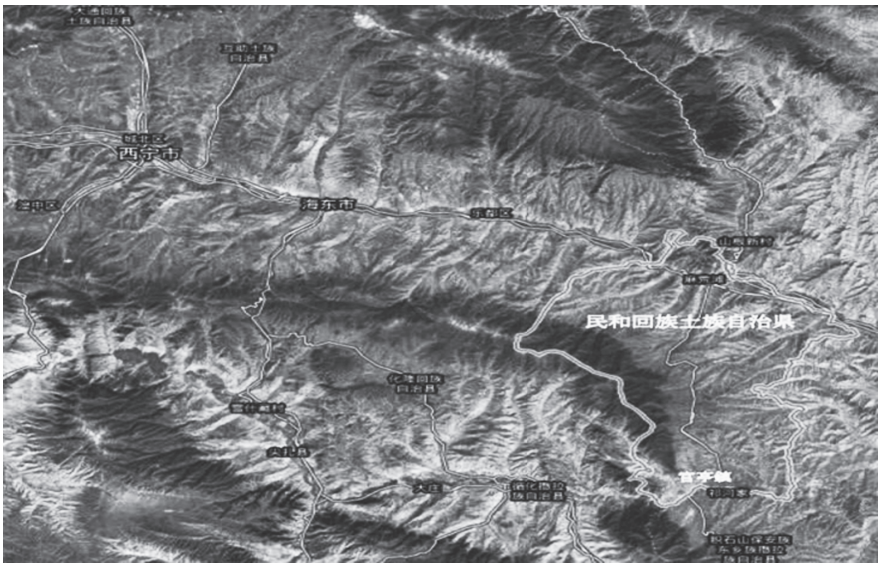


研究の現状：

上図で，言語の下の記号は，＋は記述がかなり進展していることを，△は調査が不十分で今後詳細な記述研究が急務であることを，それぞれ示している。

3．民和土族語とは

民和土族語とは，中国青海省**民和回族土族自治県**の**官亭鎮**を中心に居住する土族（Tuzuトゥズ/どぞく）によって話されるモンゴル系の無文字言語であり，言語人口は推定1万人余りである。**土族語**は，一般に**互助土族自治県**で話される「**互助方言**」（自称はMongghul）と，**民和回族土族自治県**で話される「**民和方言**」（自称はMangghuer）に大別されるが，両方言差は相当大きく，相互のコミュニケーションは極めて困難であるため，本稿では，前者を「**互助土族語**」後者を「**民和土族語**」と呼んで，双方独立した言語として取り扱うことにする。



中国青海省民和回族土族自治県周辺地域[5)]

5）Googleマップより，一部抜粋した。

4．民和土族語の主観・客観形式と問題の所在

一般に「主観形式」とは，発話者がある行為を“主観（＝内）のもの”としてとらえている場合に用いられる形式のことであり，一方，「客観形式」とは，発話者が当該行為を“客観（＝外）のもの”としてとらえている場合に用いられる形式のことである。

これは，一見すると印欧語で言うところの「主語人称と動詞語尾の呼応関係」（Subject-Verb Agreement）を連想させるが，仮にそれに従えば，**「主観形式」＝主語が１人称（話し手）：「客観形式」＝主語が２人称（聞き手）３人称（第三者）**という図式が成り立つことになる。しかし，実際に民和土族語を調査してみると，習得にはしばしば困難を伴うことがあり，「主語の人称」と「動詞語尾の形式（主観・客観）」が必ずしも一致するというわけではない。

民和土族語の先行研究として信頼できるものは，唯一 Slater, Keith W.（2003）があるのみで，そこでは確かに subjective / objective（主観・客観）の議論がすでになされているのは事実である。ただし，一つは両者の弁別に関し，述語形式の体系的かつ綿密な研究がなされているとは言い難いこと，もう一つは当該言語の調査語彙数が少なく，モンゴル語族内における語彙の位置づけが明確でないという点は，今後の研究で究明されるべきである。

本稿の目的は，民和土族語における主観形式：客観形式の詳細な弁別方法は何か，その形式的境界はどこにあるのかを解明するための第一歩として，その糸口を探ることにある。

5．民和土族語の主観・客観形式の体系の全体像

民和土族語には，等位・存在コピュラと４種の動詞終止語尾の２点に，主観形式：客観形式の区別が認められる。つまり，**等位・存在コピュラ**（等位：～である，存在：～がある），及び**４種の動詞終止語尾**（**未来**：～する，**現在・継続習慣**：（今 / いつも）～している，**過去**：～した，**過去からの継続習慣**：（過去からずっと / まだ）～している）に主観形式：客観形式の対立が見られるということである。

ここでは，煩雑さを避けるため，まずは肯定形式を，以下提示することにする。

	主観形式	客観形式
a. 等位・存在コピュラ	bi	bang
b. 未来語尾	-ni	-kunang
c. 現在・継続習慣語尾	-labi	-lang
d. 過去語尾	-ba（→ -jibi[6]）	-jiang
e. 過去からの継続習慣語尾	-serbi	-serbang

6）過去の推定・想像の意は，-baではなく，不規則的な -jibi という語尾を取るが，他の主観形式（等位・存在コピュラの bi, 現在・継続習慣語尾の -labi）の形を考慮し，ここでは -jibi を主観形式とみなすことにする。

6．民和土族語の主観・客観形式の使用実例

ここでは，上記形式の使用例を実際に提示する（以下，コンサルタントのデータによる）。

a. 等位・存在コピュラ

bi xuesheng bi 私は学生です
私 学生 等位 COP（主観）

qi gezai kong bang あなたは良い人です
あなた 良い人 等位 COP（客観）

gan laoshi bang 彼は先生です
彼 先生 等位 COP（客観）

/ damei-du khaoqin shu bi 私に古い本があります
私 LOC 古い 本 存在 COP（主観）

qimei-du shuguo tierge bang あなたに大きな車があります
あなた LOC 大きい 車 存在 COP（客観）

gan-du saihang dier bang 彼女にきれいな服があります
彼女 LOC きれいな 服 存在 COP（客観）

b. 未来語尾

bi yama-ni di-ni 私は食事を食べます
私 食事 ACC 食べる 未来（主観）

qi wula-du xi-kunang あなたは山に行きます
あなた 山 LOC 行く 未来（客観）

chighezi bao-kunang 雪が降ります
雪 降る 未来（客観）

c. 現在・継続習慣語尾

bi dianshi-ni nao-labi 私は（今）テレビを見ています
私 テレビ ACC 見る 現在・継続習慣（主観）

qi jiaoduer shidietie bosi-lang あなたは毎日早起きです
あなた 毎日 早く 起きる 現在・継続習慣（客観）

ana yama-ni china-lang お母さんは（今）食事を作っています
母 食事 ACC 作る 現在・継続習慣（客観）

d. 過去語尾

bi amula-ni di-ba 私は果物を食べました
私 果物 ACC 食べる 過去（主観）

qi wula-du xi-jiang あなたは山に行きました
あなた 山 LOC 行く 過去（客観）

gan yama-ni di-jiang 彼は食事を食べました
彼 食事 ACC 食べる 過去（客観）

e. 過去からの継続習慣語尾

bi pijighe zhuru-serbi 私は（まだ）字を書いています
私 文字 書く 過去からの継続習慣（客観）

qi dianshi-ni nao-serbang あなたは（まだ）テレビを見ています
あなた テレビ ACC 見る 過去からの継続習慣（客観）

khura bao-serbang 雨が（まだ）降っています
雨 降る 過去からの継続習慣（客観）

7. 民和土族語の主観・客観形式使用に関する基本的規則

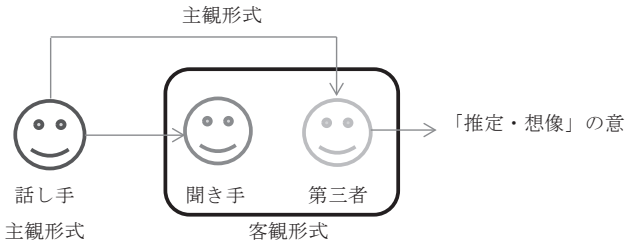
筆者は，2017年4月から2019年3月までのほぼ2年間，民和土族語の母語話者（［謝辞］の項目参照）を対象に言語調査を行ってきたが，その結果を要約すると，民和土族語には，少なくとも以下の**3つの規則**が存在しているようである。

規則1：

1）話し手が自分のことを述べる場合 → 通常は「主観」形式を用いる。

2）話し手が自分以外の人や物を述べる場合 → 通常は「客観」形式を用いる。

3）話し手が自分や聞き手以外の第三者に関して「主観」形式を用いて述べる場合
→「推定・想像」の意を表示する。



規則1の1）と2）は，上記6で述べたa.からe.の例によって，すでに示してある。したがって，ここでは規則1の3）に関してのみ，例示して説明を加えることとする。

a. 等位・存在コピュラ

gan xuesheng bi 彼は学生だろう（推定・想像の意）
彼 学生 等位 COP(主観)

/gan　ger-du-lang　bi　　彼は自分の家にいるだろう（推定・想像の意）
彼　家 LOC REF　存在 COP（主観）

b. 未来語尾

chighezi　bao-ni　　雪が降るだろう（推定・想像の意）
雪　降る 未来（主観）

c. 現在・継続習慣語尾

khura　bao-labi　　雨が（今）降っているだろう（推定・想像の意）
雨　降る 現在・継続習慣（主観）

d. 過去語尾

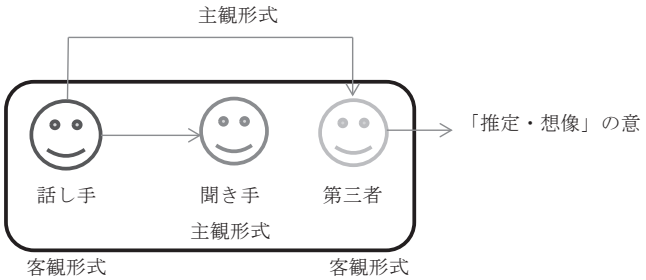
gan　yama-ni　di-jibi　　彼は食事を食べただろう（推定・想像の意）
彼　食事 ACC　食べる 過去（主観）

e. 過去からの継続習慣語尾

gan　pijighe　zhuru-serbi　　彼は（まだ）字を書いているだろう（推定・想像の意）
彼　文字　書く 過去からの継続習慣（主観）

規則 2：「疑問文」の場合，判断主体が，話し手から聞き手にシフトする。

1）話し手が聞き手のことを尋ねる場合 → 通常は「主観」形式を用いる。
2）話し手が聞き手以外の人や物を尋ねる場合 → 通常は「客観」形式を用いる。
3）話し手が自分や聞き手以外の第三者に関して「主観」形式を用いて尋ねる場合
→「推定・想像」の意を表示する。



次は疑問形式を，以下提示することにする。

	主観形式	客観形式
a. 等位・存在コピュラ	biu	bainu
b. 未来語尾	-nu	-kunainu
c. 現在・継続習慣語尾	-labiu	-lainu
d. 過去語尾	-bu	-jienu
e. 過去からの継続習慣語尾	-serbiu	-serbainu

ここでは，上記形式の使用例を実際に提示する（以下，例文番号は規則番号と一致する）。

a. 等位・存在コピュラ

1） qi mangghuer biu あなたは土族ですか
あなた 土族 等位 COP（主観） INT

2） bi xiabier kong bainu 私は漢人ですか
私 漢人 等位 COP（客観） INT

gan tiebie kong bainu 彼はチベット人ですか
彼 チベット人 等位 COP（客観） INT

3） gan tiebie kong biu 彼はチベット人だろうか（推定・想像の意）
彼 チベット人 等位 COP（主観） INT

/ 1） qimei-du shuguo tierge biu あなたに大きな車がありますか
あなた LOC 大きい 車 存在 COP（主観） INT

2） damei-du gezai nukuer bainu 私に良い友達がいますか
私 LOC 良い 友達 存在 COP（客観） INT

gan-du gezai nukuer bainu 彼に良い友達がいますか
彼 LOC 良い 友達 存在 COP（客観） INT

3） gan ger-du-lang biu 彼は自分の家にいるだろうか（推定・想像の意）
彼 家 LOC REF 存在 COP（主観） INT

b. 未来語尾

1） qi amula-ni di-nu あなたは果物を食べますか
あなた 果物 ACC 食べる 未来（主観） INT

2） bi wula-du xi-kunainu 私は山に行きますか
私 山 LOC 行く 未来（客観） INT

gan wula-du xi-kunainu 彼は山に行きますか
彼 山 LOC 行く 未来（客観） INT

3） gan wula-du xi-nu 彼は山に行くだろうか（推定・想像の意）
彼 山 LOC 行く 未来（主観） INT

c. 現在・継続習慣語尾

1） qi yama-ni china-labiu あなたは（今）食事を作っていますか
あなた 食事 ACC 作る 現在・継続習慣（主観） INT

2） bi dianshi-ni nao-lainu 私は（今）テレビを見ていますか
私 テレビ ACC 見る 現在・継続習慣（客観） INT

khura bao-lainu 雨が（今）降っていますか
雨 降る 現在・継続習慣（客観） INT

3） khura　bao-labiu　　雨が（今）降っているだろうか（推定・想像の意）

雨　　降る 現在・継続習慣（主観）INT

d. 過去語尾

1） qi　yama-ni　di-bu　　あなたは食事を食べましたか

あなた 食事 ACC 食べる 過去（主観）INT

2） bi　amula-ni　di-jienu　　私は果物を食べましたか

私　果物 ACC　食べる 過去（客観）INT

gan　ger-du　xi-jienu　　彼は家に行きましたか

彼　家 LOC　行く 過去（客観）INT

3） gan　ger-du　xi-bu　　彼は家に行っただろうか（推定・想像の意）

彼　家 LOC　行く 過去（主観）INT

e. 過去からの継続習慣語尾

1） qi　yama-ni　china-serbiu　　あなたは（まだ）食事を作っていますか

あなた 食事 ACC 作る 過去からの継続習慣（主観）INT

2） bi　dianshi-ni　nao-serbainu　　私は（まだ）テレビを見ていますか

私　テレビ ACC　見る 過去からの継続習慣（客観）INT

chighezi　bao-serbainu　　雪が（まだ）降っていますか

雪　　降る 過去からの継続習慣（客観）INT

3） chighezi　bao-serbiu　　雪が（まだ）降っているだろうか（推定・想像の意）

雪　　降る 過去からの継続習慣（主観）INT

規則 3：「非制御動詞（non-control verbs）」（自分の意志で制御できないような感情・感覚動詞）を用いる場合

→ 例えば，ayi-（恐れる），bietu-（痛む），luosi-（空腹になる），chudu-（満腹になる），sanna-（恋しく思う）等の動詞がこれに該当する。

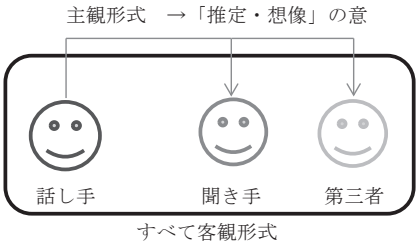
1）話し手が自分のことを述べる場合

→ 専ら「客観」形式を用いる。

2）話し手が自分以外の人や物を述べる場合 → 当然「客観」形式を用いる。

3）話し手が自分以外の聞き手や第三者に関して「主観」形式を用いて述べる場合

→「推定・想像」の意を表示する。



規則 3：注意事項 1

なお，この規則 3 は，未来（～する）及び現在・継続習慣（(今 / いつも）～している）の，いわゆる「非過去」(non-past) の場合にのみ適用されるものであり，過去（～した）や過去からの継続習慣（(過去からずっと / まだ）～している）には適用されない（この場合は，規則 1 が適用される)。

b. 未来語尾

1） muni gediesi bietu-kunang 私はお腹が痛くなる
私の 腹 痛む 未来(客観)

2） qini gediesi luosi-kunang あなたはお腹が空きます
あなたの 腹 空腹になる 未来(客観)

ganni gediesi chudu-kunang 彼はお腹が膨れます
彼の 腹 満腹になる 未来(客観)

3） qini gediesi luosi-ni あなたはお腹が空くだろう（推定・想像の意）
あなたの 腹 空腹になる 未来(主観)

ganni gediesi chudu-ni 彼はお腹が膨れるだろう（推定・想像の意）
彼の 腹 満腹になる 未来(主観)

c. 現在・継続習慣語尾

1） bi chuna-sa ayi-lang 私は（常に）狼が怖い
私 狼 ABL 恐れる 現在・継続習慣(客観)

2） qi nughuai-sa ayi-lang あなたは（常に）犬が怖い
あなた 犬 ABL 恐れる 現在・継続習慣(客観)

gan moghai-sa ayi-lang 彼女は（常に）蛇が怖い
彼女 蛇 ABL 恐れる 現在・継続習慣(客観)

3） qi nughuai-sa ayi-labi あなたは（常に）犬が怖いだろう（推定・想像の意）
あなた 犬 ABL 恐れる 現在・継続習慣(主観)

gan moghai-sa ayi-labi 彼女は（常に）蛇が怖いだろう（推定・想像の意）
彼女 蛇 ABL 恐れる 現在・継続習慣(主観)

過去（～した）や過去からの継続習慣（(過去からずっと / まだ）～している）の場合には，規

則 3 ではなく規則 1 が適用されることを，以下示す。

d. 過去語尾

1） bi ti nughuai-sa ayi-ba 私はその犬が怖かった
私 その 犬 ABL 恐れる 過去(主観)

2） qi ti nughuai-sa ayi-jiang あなたはその犬が怖かった
あなた その 犬 ABL 恐れる 過去(客観)

gan ti nughuai-sa ayi-jiang 彼女はその犬が怖かった
彼女 その 犬 ABL 恐れる 過去(客観)

3） gan ti nughuai-sa ayi-jibi 彼女はその犬が怖かったのだろう（推定・想像の意）
彼女 その 犬 ABL 恐れる 過去(主観)

e. 過去からの継続習慣語尾

1） bi ger-lang sanna-serbi 私はまだホームシックになっています
私 家 REF 恋しく思う 過去からの継続習慣(主観)

2） qi ger-lang sanna-serbang あなたはまだホームシックになっています
あなた 家 REF 恋しく思う 過去からの継続習慣(客観)

gan ger-lang sanna-serbang 彼女はまだホームシックになっています
彼女 家 REF 恋しく思う 過去からの継続習慣(客観)

3） gan ger-lang sanna-serbi 彼女はまだホームシックになっているのだろう（推定・想像の意）
彼女 家 REF 恋しく思う 過去からの継続習慣(主観)

規則 3：注意事項 2

非制御動詞で，未来（～する）及び現在・継続習慣（(今 / いつも）～している）の，いわゆる「非過去」(non-past) の場合，疑問文で，判断主体が聞き手にシフトしても，規則 2 は適用されないことにも注意されたい。

b. 未来語尾

qini gediesi luosi-kunainu あなたはお腹が空きますか
あなたの 腹 空腹になる 未来(客観) INT

qini gediesi chudu-kunainu あなたはお腹が膨れますか
あなたの 腹 満腹になる 未来(客観) INT

c. 現在・継続習慣語尾

qi ni nughuai-sa ayi-lainu あなたはこの犬が怖いのですか
あなた この犬 ABL 恐れる 現在・継続習慣(客観) INT

qi ger-lang sanna-lainu あなたは（今）ホームシックになっていますか
あなた 家 REF 恋しく思う 現在・継続習慣(客観) INT

qini terghai bietu-lainu あなたは（今）頭が痛いのですか
あなたの 頭 痛む 現在・継続習慣（客観）INT

8．民和土族語の主観・客観形式の揺れ（基本的規則が適用されない場合）

ここでは，民和土族語の主観・客観形式に関し，上記 7 の 3 つの基本的規則が直接適用されない，つまり一種の揺れが見られるような特殊な場合を取り扱うこととする。

8.1 話し手の判断に委ねられる場合

a. 等位コピュラ

① muni xujun boghuolin bi 私の娘は背が低いです（主観的判断）
私の 娘 低い 等位 COP（主観）

muni xujun boghuolin bang 私の娘は背が低いです（客観的判断）
私の 娘 低い 等位 COP（客観）

② qini diao gezai kong biu あなたの弟は良い人ですか（主観的判断）
あなたの 弟 良い 人 等位 COP（主観）INT

qini diao gezai kong bainu あなたの弟は良い人ですか（客観的判断）
あなたの 弟 良い 人 等位 COP（客観）INT

民和土族語では，①，②の主観・客観形式双方がいずれも適格文である。しかし，①では，前者は話し手の主観的判断，つまり他者の意見を考慮しない自分の一方的な意見，個人的見解の表明であるのに対し，後者は話し手の客観的判断，つまり他者の意見を取り入れたより一般的，中立的な意見の表明である。また②では，前者は話し手が聞き手の主観的判断，つまり他者の意見を考慮しない個人的見解を尋ねているに対し，後者は話し手が聞き手の客観的判断，つまり他者の意見を取り入れたより一般的，中立的な意見を尋ねているという違いが，それぞれ見られる。

8.2 話し手の「意味の力点」の位置の違いによる場合

a. 存在コピュラ

① muni anaba ger-du bi 私の両親は家にいます
私の 父母 家 LOC 存在 COP（主観）

muni anaba ger-du bang 私の両親は家にいます
私の 父母 家 LOC 存在 COP（客観）

② qini bulai aguer ger-du biu あなたの子供は家にいますか
あなたの 男子・女子 家 LOC 存在 COP（主観）INT

qini bulai aguer ger-du bainu あなたの子供は家にいますか
あなたの 男子・女子 家 LOC 存在 COP(客観) INT

民和土族語では，①，②の主観・客観形式双方がいずれも適格文である。しかし，①では，前者は話し手の意味の力点が，話し手の「私」にあるため，主観形式 bi が用いられているのに対し，後者は話し手の意味の力点が，話し手の「私」にではなく，「家」（話し手以外の物に当たり，規則 1 の 2）が適用される）にあるため，客観形式 bang が用いられている。また②では，前者は話し手の意味の力点が，聞き手の「あなた」にあるため，主観形式 biu が用いられているのに対し，後者は話し手の意味の力点が，聞き手の「あなた」にではなく，「家」（聞き手以外の物に当たり，規則 2 の 2）が適用される）にあるため，客観形式 bainu が用いられているという違いが，それぞれ見られる。

8.3 授与動詞 hu-（与える）の場合

ここでは，問題の煩雑化を避けるために，便宜上過去形・肯定文に焦点を当てて，簡単に議論することにする。

d. 過去語尾

1） bi qimei-du qier hu-ba 私はあなたにお金をあげました
私 あなた LOC お金 与える 過去(主観)

bi gan-du qier hu-ba 私は彼にお金をあげました
私 彼 LOC お金 与える 過去(主観)

2） qi gan-du qier hu-jiang あなたは彼にお金をあげました
あなた 彼 LOC お金 与える 過去(客観)

gan qimei-du qier hu-jiang 彼はあなたにあげました
彼 あなた LOC お金 与える 過去(客観)

3） qi damei-du qier hu-ba あなたは私にお金をくれました（人称とのずれ）
あなた 私 LOC お金 与える 過去(主観)

gan damei-du qier hu-ba 彼は私にお金をくれました（人称とのずれ）
彼 私 LOC お金 与える 過去(主観)

例文 1），2）は，7．民和土族語の主観・客観形式使用に関する基本的規則の**規則 1** がそのまま適用されているが，問題は例文 3）である。例文 3）は，本来なら規則 1 の 2）が適用され，客観形式 -jiang が期待されるが，実際にはそうなっていない。

これに対しては，次のような解釈が可能であろうと考える。つまり，授与動詞 hu-（与える）を用いる場合，もしも話し手が利益を受ける側，すなわち受益者（recipient）になるような場合は，たとえ話し手が，自分以外の聞き手や第三者のことを述べる場合であっても，行為の対象が話し手に向いているため，主観形式を要求するのである。

8.4 アスペクトの違いを反映した過去の場合

話し手が，自分や聞き手以外の第三者の物について言及し，しかも用いる動詞が pudera-（逃げる）hugu-（死ぬ）等の推移動詞（自動詞）の場合に限り，過去語尾 -ba / -jiang においてアスペクトの違いを反映した現象が見られる。

① khuoni pudera you-ba 羊が逃げていきました（まだ見える）
羊 逃げる 行く 過去（主観）

khuoni pudera you-jiang 羊が逃げていきました（すでに見えない）
羊 逃げる 行く 過去（客観）

② kheghai hugu-ba 豚が死にかけています（まだ死んでいない）
豚 死ぬ 過去（主観）

kheghai hugu-jiang 豚が死んでしまいました（すでに死んだ）
豚 死ぬ 過去（客観）

例文①，②は，ともに本来なら 7．民和土族語の主観・客観形式使用に関する基本的規則の**規則 1** の 2）が適用され，主観形式 -ba は非文，客観形式 -jiang は適格文となるところであるが，実際には①，②の主観・客観形式双方がいずれも適格文である。

両方の意味内容に関し，①，②の前者は，それぞれ話し手が羊の逃げていく状況や豚の死んでいく状況を実際にまだ目で見て確認しているのに対し，後者は，その状況がすでに完了してしまったことを表している。すなわち，この場合，過去語尾の主観・客観形式 -ba / -jiang には，話し手にとって継続アスペクト：完了アスペクトといったアスペクトの違いが反映されている[7]ものと解釈できる。

9．民和土族語の主観・客観形式のまとめ

本稿では，民和土族語における主観形式：客観形式の詳細な弁別方法は何かということに焦点を当てて議論してきた。

分析の結果，民和土族語の主観・客観形式使用に関する基本的規則として，民和土族語には，**規則 1**，**規則 2**，**規則 3** という少なくとも 3 つの規則が存在していることが明らかとなった。また，その基本的規則が適用されない場合として，a）話し手の判断に委ねられる場合，b）話し手の「意味の力点」の位置の違いによる場合，c）授与動詞 hu-（与える）の場合，d）アスペクトの違いを反映した過去の場合等，いくつかの特殊なケースがあることも説明補足した。

今回の分析により，民和土族語の主観・客観形式という複雑な問題に分け入り，今後の研究

7）民和土族語の主観・客観形式 -ba/-jiang は，形式的にはモンゴル語の単純過去 -в/ 遠過去 -жээ（-чээ）にそれぞれ対応するものと考えられる。また，意味的には8.4で議論した民和土族語の継続アスペクト：完了アスペクトの対立は，モンゴル語の時間的に近い過去（近過去）：遠い過去（遠過去）の対立と相通ずるものがあると言えよう。

に一定の方向性を示すことができたのではないかと考える。

10. おわりに

本稿では，時間・紙面の都合で，問題を民和土族語の述語形式に関し，主に肯定文と疑問文（Yes-No 疑問文）の 2 点に絞って議論してきた。その他の否定文，否定疑問文，疑問文（Wh 疑問文）等における主観・客観形式の問題は，別の機会に譲りたい。

略語：ABL 奪格， ACC 対格， COP コピュラ， INT 疑問， LOC 与位格， REF 再帰所有

［謝辞］

今回の調査結果は，民和土族語の母語話者である何菊紅（カ キクコウ）さんから得られたデータを基に分析したものである。彼女は，2015年 4 月から2017年 3 月まで，まる 2 年間大学院研究生として，私のもとでモンゴル語の基礎を学んだ後，2017年 4 月から2019年 3 月まで，正式に大阪大学言語文化研究科言語社会専攻大学院博士前期課程に在籍中，本人から週 2 回，各 2 時間のペースで，ほぼ 2 年近くにわたって民和土族語の聞き取り調査を実施した。その間，東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催の2018年度言語研修で，私が主任講師，彼女がネイティブ講師として「土族語（中国のモンゴル系民和土族語）」を担当し，言語研修用テキスト 4 冊（参考文献参照）を執筆するとともに，同年 8 月 1 日から 8 月31日までの合計120時間，受講生たちに当該言語を教授した。今回の成果は，こうした一連の研究の延長上に位置づけられるものである。ここに記して，何菊紅さんに感謝の意を表したい。

また，2 名の査読者より拙稿に対し，大変貴重なアドバイスをいただいた。あわせて御礼を申し上げたい。

補遺 1：本稿で使用する民和土族語の文字と IPA 表記との対応

1．母音

1.1　短母音　a［ɑ］, o［o］, u［u ～ y / ɕ, tɕ, dʑ の後］, e［ə］, i［i ～ ɪ / s, tʂ, dʐ の後］

1.2　二重母音　ai［ɑi］, ei［əi］, ao［ɑo］, uo［uo］, ou［ou］, iu［iu］, ie［iə］, ue［yə］, ua［uɑ］, ia［iɑ］

1.3　三重母音　iao［iɑo］, uai［uɑi］

2．子音

b［b］, p［p］, m［m］, w［w］, d［d］, t［t］, z［dʑ］, c［tʂ］, s［s］, n［n］, l［l］, r［r］, zh［dʐ］, ch［tʂ］, sh［ʂ］, j［dʑ］, q［tɕ］, x［ɕ］, y［j］, g［g］, k［k］, h［x］, ng［ŋ］, gh［ɢ］, kh［q］

3．その他の注意すべき発音

en［ən ～ m ～ n］, er［ɚ］, wu［u］, si［sɪ］, ci［tʂɪ］, zi［dʐɪ］, xu［ɕy］, qu［tɕy］, ju［dʑy］

補遺２：本稿で出現する民和土族語語彙索引

aguer［aguə˞］ 女の子
amula［amulɑ］ 果物
ana［anɑ］ 母
anaba［anɑbɑ］ 父母，両親
ayi-［aji-］ 恐れる
bainu［bɑinu］ 存在 / 等位コピュラ･疑問(客観)
bang［bɑŋ］ 存在 / 等位コピュラ（客観）
bao-［bɑo-］ 下りる，降る
bi［bi］ 私
bi［bi］ 存在 / 等位コピュラ（主観）
bietu-［biətu-］ 痛む
biu［biu］ 存在 / 等位コピュラ・疑問（主観）
boghuolin［boɢuolin］（背が）低い
bosi-［bosɪ-］ 起きる
bulai［bulai］ 男の子
chighezi［tʂiɢəʣɪ］ 雪
china-［tʂinɑ-］ （食事を）作る
chudu-［tʂudu-］ 満腹になる
chuna［tʂunɑ］ 狼
damei-du［dɑməidu］ 私に
di-［di-］ 食べる
dianshi［diɑnʂi］ テレビ
diao［diɑo］ 弟，妹
dier［diə˞］ 服
gan［gɑn］ 彼，彼女
gan-du［gɑndu］ 彼に，彼女に
ganni［gɑnni］ 彼の，彼女の
gediesi［gədiəsɪ］ 腹
ger［gə˞］ 家
gezai［gəʣai］ 良い
hu-［xu-］ 与える
hugu-［xugu-］ 死ぬ
jiaoduer［ʤiɑoduə˞］ 毎日
kong［koŋ］ 人
khaoqin［qɑotɕin］ 古い
kheghai［qəɢɑi］ 豚
khuoni［quoni］ 羊
khura［qurɑ］ 雨
laoshi［lɑoʂi］ 先生
luosi-［luosɪ-］ 空腹になる
mangghuer［mɑŋɢuə˞］ 土族
moghai［moɢɑi］ 蛇
muni［muni］ 私の
nao-［nɑo-］ 見る
ni［ni］ これ；この
nughuai［nuɢuɑi］ 犬
nukuer［nukuə˞］ 友達
pijighe［piʤiɢə］ 文字，字
pudera-［pudərɑ-］ 逃げる
qi［tɕi］ あなた
qier［tɕiə˞］ お金
qimei-du［tɕiməidu］ あなたに
qini［tɕini］ あなたの
saihang［sɑixɑŋ］ きれいな，美しい
sanna-［sɑnnɑ-］ 恋しく思う
shidietie［ʂidiətiə］ （時間的に）早い
shu［ʂu］ 本
shuguo［ʂuguo］ 大きい
terghai［tə˞ɢɑi］ 頭
ti［ti］ それ；その
tiebie［tiəbiə］ チベット
tierge［tiə˞gə］ 車
wula［ulɑ］ 山
xi-［ɕi-］ 行く
xiabier［ɕiɑbiə˞］ 漢人，漢族
xuesheng［ɕyəʂəŋ］ 学生
xujun［ɕyʤyn］ 娘
yama［jɑmɑ］ 食事
you-［jou-］ 歩く，行く
zhuru-［dʐuru-］ （字を）書く

参考文献

塩谷茂樹編訳・著，思沁夫絵・コラム （2014）『モンゴルのことばとなぜなぜ話』 大阪大学出版会

塩谷茂樹，何菊紅 （2018）『土族語文法』 75p. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

塩谷茂樹，何菊紅 （2018）『土族語例文・会話』 79p. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

塩谷茂樹 （2018）『土族語語彙』 30p. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

塩谷茂樹 （2018）『土族語作文』 28p. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

Шиотани Шигэки （2019） Миньхэ монгор хэлний эгшиг авианы хувьсал хөгжлийг цуваа цагийн үүднээс судлах нь, *Хэл зохиол судлал*, Vol.12 (44), 98–106, Улаанбаатар

Slater, Keith W. （2003） *A Grammar of Mangghuer: A Mongolic Language of China's Qinghai-Gansu Sprachbund*, Routledge Curzon, London and New York